

視察ルポ

契約制度の見直しなどを視察

《総務委員会》

総務委員会では平成十四年七月十五日より十七日までの日程で行った視察を行いました。

旭川市では、契約制度の見直しについてを視察しました。入札制度の改善策として、平成八年二億円以上の予定建設工事名や工事概要の公表、平成十年には低入札価格調査制度を導入。設計金額の事前公表を行い、不正入札の抑止などを試み、手続の透明性や競争性の向上のために簡易公募型指名競争入札が実施されるなど非常に斬新な取り組みで、現在、談合違約金制度も検討中ということで聞く話すべてが驚きでした。

深川市では、電子自治体パイロット事業について視察しました。平成十年郵政省の自治体ネットワーク施設整備事業の補助を受け、地域情報化を推進するための中核

施設として整備された「深川市マルチメディアセンター」は、市民が電子情報を体験できる多種多様な機能がありました。また主な公共施設を回線で接続し、市政情報図書館情報の提供など、サービスの充実が図られていました。

岩見沢市では、自治体ネットワークセンターについて視察を行いました。平成五年に広域十一市町村による地域情報化促進協議会を設立し、平成八年に郵政省補助八イビジョンシティモデルの指定を受け、平成九年自治体ネットワークセンター設立。このセンターを利用して教育情報をネットワークで学校間をつなぐ遠隔学習システムなどいづれも目を見張るものばかりでした。



旭川市を視察する総務委員会

中学校給食などを視察

《文教委員会》

文教委員会では、五月二十日から二十二日の日程で、川崎市、兵庫県山本町、広島市の行政視察を行いました。川崎市、広島市では、中学校給食（弁当方式）の試食も行いました。広島市では、六十校のうち三十四校が弁当給食になっており、一食二百四十円、選択給食で実施。川崎市では、二校で試行されており、一食三百円（汁物含む）選択給食で実施。いずれも、食材は市が安全なもの調達し、市の栄養士が献立を作成、調理作業が正しく行われているかをチェックし、安全性を確保しているとのことでした。

また、給食事務補助員や配膳バートンを配置して教職員の負担にならないような配慮がなされてました。味付けは「薄味」で、量も多



県立南但馬自然学校を視察する文教委員会

く大変おいしい給食でした。兵庫県では県立南但馬自然学校を視察しました。自然に恵まれた広大な敷地に、自然学習、体験学習、集団宿泊生活を目的とした施設がつくられており、子どもたちに自然・人・地域とのふれあいの中で、思いやりの心やたくましい生命力を培い、学校生活では得られない体験学習を行うことを目的として、事業が展開されておりました。

こうした指導をするために専門の指導員が配置されてましたし、何よりも子どもたちの自主性を大切に運営されていることに感銘を受けました。また、アウトドアなどに興味を持っている県民を募って研修を行い指導者として参加してもらっているとのことでした。

編集後記

子供の頃、大晦日には一年に一度の大掃除を手伝い、新年に着る下着や歯ブラシを買いそろえ、餅つきやおせち料理を作り、家族で紅白を見終えて、春日神社に参ることが恒例でした。

また、現在では一昔前と違い、どんな野菜や果物も一年中食べることができ、季節感がなくなってしまう、楽しみが半減したように感じるのには私だけでしょうか。経済優先で便利になった現在ですが、新年からは、より一層「人や地域を愛する心」がはぐくまれる社会になってほしいと思えます。

(藤井)

- 議会報編集特別委員会
- 委員長 藤井俊雄
- 副委員長 岩切幹嘉
- 委員 村山正美
- 委員 塚本良治

